

地域の概要



薩摩川内市亀山地区。小倉自治会は、南九州自動車道より西側に位置し、人口184人、高齢化率56.1%。2人に1人が高齢者。



取組のきっかけ

包括支援センターより、買い物に困っている方（Aさん）がいるので、地域で解決できないかなといった相談がきっかけ。Aさんは、独り暮らしで、最近物忘れが出てきており、買い物に行くことが困難になっている。県外の娘さんも、心配している。本人はできることはできるだけ自分でしていきたいと考えている。亀山地区担当の生活支援コーディネーターが相談を受け、地域の方にも相談した。

取組の目的

- 買い物支援
- 集いの場としての拠点づくり
- 見守り支援
- 役割づくり

これまでの経緯



年・月	出来事
令和4年	包括支援センターより、買い物に困っている方の相談あり
	有償ボランティアの支援を検討するため、自治会長、世話役さんに相談
	小倉自治会は高齢化率も高く、ボランティアでの支援は難しい、他にも買い物に困っている人がいるのではないかと、アンケート調査
	話し合い（自治会長、世話役、2層SC） 個別課題ではなく、地域課題としてとらえよう 移動販売車の活用、拠点づくりにしてはどうか
	役割の確認
	生協コープかごしまさんからの説明
	生協コープかごしまさんの移動販売車スタート

活動の概要

薩摩川内市小倉自治会と生協コープかごしま、社会福祉協議会（SC）が協働し、移動販売による買い物支援を実施している。

小倉自治会：買い物に困っている人への声かけ。

Aさん宅が拠点の移動販売について広報。

社協（SC）：生協コープかごしまと自治会とのマッチング

生協コープ：移動販売の日程調整。

〔頻度・利用人数・利用者負担〕

- 週1回、Aさん宅の庭を拠点にしている。
- 近所の方10名前後、集まって声を掛け合っている
- 店舗と同じ値段で購入でき、事前に注文もできるため、重いものなどを頼んでいる方がいる

〔活動に関わった人・団体〕

Aさん、Aさんの娘、生活支援コーディネーター、小倉自治会、サロン担当者、生協コープかごしま



取組における行政担当者・生活支援コーディネーターとしての役割

〔行政担当者としての役割〕

- つながり発表会での活動の周知
- SCと定期的な情報共有

〔SCとしての役割〕

- 包括との連携
- 小倉自治会との連携
- 生協コープかごしまとのマッチング
- 買い物に困っている方への調査
- Aさん家族の思い調整
- 集いの場、見守り活動などの効果の見せる化



現時点での到達点（効果・課題など）

〔効果〕

- 買い物・移動に困っていると一人の困りごとが、他にも困っている方がいるとのことで、自治会が課題解決できた。
- 集いの場としての拠点となり、独居や認知症の方の見守り活動。
- Aさんが自宅に移動販売がくるため、移動販売車の誘導をし役割をもつことができた。

〔課題〕

自治会が、川を挟み分かれており、距離があるため、川の向こう側の方への支援が行き届いていない。